



# Step Up

## 森は生きている



作/サムイル・マルシャーク 訳/湯浅芳子(岩波書店版)

演出/飯塚 彰

今年も冬の訪れとともに、『森は生きている』の幕が開きます。  
一九〇〇回を越える上演回数で全国のお客様に親しまれてきた『森は生きている』。  
今年度より演出を担当する演出部・飯塚彰と一新したキャストが、森に新たな息吹を吹き込みます。

燃えろ 燃えろ  
あざやかに  
夏はカッカと照るだろう  
冬はなるたけ暖かく  
春は優しく照るがよい  
燃えろ 燃えろ  
明るく燃えろ  
消えないように  
どんどん燃えろ

ある国の大晦日。  
わがままな女王様が「新年までにマツユキ草をもってきた者にはかごいっぱいのお金をあげます」と、とんでもないお布令を出しました。欲張りな叔母さんとその娘は、金貨欲しさにみなしごの少女を厳寒の森へマツユキ草をさがしにやります。  
見つかるはずもないマツユキ草をさがしながら、真っ暗な森をさまよい歩き、身も心も凍てついた少女。絶望の淵に立たされた少女を、あたたかな金色の光と楽しい歌声が希望へと導きます。



一九五九年以来、劇団仲間の『森は生きている』は、児童劇の最高峰として、一九一四回と公演回数を伸ばしております。これも偏に皆様方のご支援の賜と厚くお礼申し上げます。  
ご承知のように、『森は生きている』は、ロシアの作品でありながら、日本人の琴線に触れるメルヘンで、全国の皆様にご支持を頂いて参りました。

全編「詩」である湯浅芳子氏の格調高い翻訳と、林光氏の瑞々しい音楽は、いつの時代にも新鮮な発見と、新たな感動を呼び起こしてくれます。

今年度の『森は生きている』は、故・中村俊一の演出ノートを基に、演出する運びとなりました。この事は、座員共々この上ない喜びであります。

創立時に立ち戻り、劇団員が一丸となって異例の夏稽古からスタート致しました。台詞を吟味し、行間を読み取りながら、連日稽古に取り組んでおります。正に「古い革袋に新しい酒」の喻え通りの仕事になります。

創立五五周年、二〇〇〇回の記念公演は、「生演奏」での『森は生きている』を創りたいと、考えております。

皆様には、ご家族で劇場にお出掛け頂けますように、劇団員一同、心からお待ち申し上げます。

演出/飯塚 彰

会場・紀伊國屋サザンシアター

公演日・2006年12月23日(土祝)~27日(水)

2007年1月4日(木)、5日(金)

料金・4,500円(全席指定/消費税込)

前売開始・10月23日(月)

公演日時	12/23 (土祝)	12/24 (日)	12/25 (月)	12/26 (火)	12/27 (水)	1/4 (木)	1/5 (金)
11:00				○			
14:00	○	○	○		○	○	○
18:30	○						

# 森は生きている

# 森は生きている

## 座談会

出席者

田中 誠  
小倉 輝一  
大堀 茜  
池田 舞子  
高木 恵美子



■全国各地のお客様のご支援により一九〇〇回を越える上演を重ねてきた『森は生きている』。今年度より、演出家・キャストも大幅に変わり、新しい『森』の創造を目指します。稽古の合間をぬって、出演者の方々に話を伺いました。

■今年度から、演出家もかわり、皆さんも去年までとは違う役を演じることに。なったわけですが、配役が発表されたときはどんな心境でしたか？

**池田(女主)** 自分の目を疑いましたね。「うそーっ！」って。びっくり。

**大堀(みなし)** 嬉しい。嬉しいですよ。若いうちにやりたかった役なので(笑)

ま、気持ちにはティーンエイジャーなんですけど…。それに、今まで「ない、ない。」って、キャラが違っって言われてたしね。

**田中(十月の精)** 数年ぶりに十二月(つき)の精に戻ったんだけど、「やっぱり俺は春じゃないんだなあ。」って…。前に三月のアンダーについたこともあるし「いつか、いつか俺にも春が…」って思ってたんだけど、「やっぱり俺に春は来ないんだなあ…」と(笑)

■四月の精に配役された小倉さんはどうですか？



T. Ogura

したか？

**小倉(四月の精)** 「あゝ、来たかあ…。」って感じだったね。俺ももっと若い頃に…(笑) 体ももっと動いたと思うしね。

**大堀** でも、小倉さんもティーンエイジャーでしょ？

**小倉** 気持ちはね(笑) 嬉しいけど、でも手放しでは喜べなかったかなあ。

**田中** 「いつかは四月を！」とか思ってた？ 俺みたいに(笑)

**小倉** 見てて、大変だなあと思ってたからねえ。大変なんだろうなあ。

**高木(七月の精)** あたしはついてるのかなあ？とちよつとドキドキして、発表を見に行ったのね。で、去年までやってたリスのところを見て「ない！」と思って。探していたら、「あ！あった！」と。

**田中** 俺もオオカミのところをまず確認して、「あ、俺今年森休みなんだ。」って思った。

■今年七月から稽古が始まって、いつもよりも長い稽古になりますか、稽古をしてみてどうですか？

**池田** 一人でとか、先生と二人だけでっていう稽古が多かったこともあって、女王ってホントに孤独なんだなあっていうのを実感した。共感して



E. Takagi

て、女王ってホントに孤独なんだなあっていうのを実感した。共感して

くれる人がほとんど居ないんだなああって、寂しいなあって思った。

**大堀** あたしも。十二月(つき)と一緒に稽古だと、みんながそこについてくれることがすごく嬉しい。みんな優しく話を聞いてくれるので。



A. Ohori

**高木** 『森』ってセリフが詩的だし、今使わないような言葉も多いから、セリフに感情をのせることが難しいよね。

**小倉** 「待ち給え、娘さん」とかね(笑) なんとなく違和感があったりして。

**大堀** 課題はそれぞれあるけど、自分は小さい頃から『森』を観てきたし、その時感じた気持ちとかは忘れないようにしたいなあ。

■自分の役についてはどう捉えていますか？

**大堀** どんな辛い状態におかれていたとしても、決してストップしないでさういう中でも楽しいこと、幸せなことを見つけて、強い娘だよ。自分なら誰かに甘えたり頼ったりしてしまおうかなあところでも、そうはしないでその瞬間瞬間を一生懸命に生きている。それが素敵なんだよね。だから、動物も応援してくれたり、十二月(つき)も見守ってくれるんだと思う。

～ コンサートホール・劇場でのもぎり・案内・受付・アナウンス承ります～

株式会社 **ホールサービス**

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-51-4 3F  
TEL : 03-3475-9361 FAX : 03-3475-9360  
E-Mail : hall-service@rio.odn.ne.jp

# 森は生きている

## ◆スタッフ◆

作 = サムイル・マルシャーク  
 訳 = 湯浅芳子  
 演出 = 飯塚 彰  
 音楽 = 林 光  
 美術 = 松下 朗・内山 勉  
 照明 = 森脇清治  
 効果 = 秦 和夫・富田健治  
 振付 = 石田種生  
 衣裳 = 渡辺園子  
 舞台監督 = 高田 潔  
 制作 = 小田芳信

## ◆キャスト◆

みなしご・・・大堀 茜  
 老婆・・・二瓶 美江  
 娘・・・小西 智春  
 女王・・・池田 舞  
 女官長・・・渡辺 芳子  
 博士・・・村井 裕  
 総理大臣・・・前田 承生  
 警護隊長・・・鹿島 伸往  
 検事・・・新堀 創世  
 西の国の大使・・・鈴木 志門  
 夫人・・・高木 恵美子  
 東の国の大使・・・更井 孝行  
 夫人・・・木立 実  
 お布れの将校・・・飛田 晃治  
 お布れの将校・・・鈴木 志門  
 お布れの将校・・・大門 裕明  
 鼓手・・・関口 篤  
 老兵士・・・伊藤 初雄  
 若い兵士・・・木立 実  
 オオカミ・・・鎌田 睦大  
 カラス・・・関口 篤  
 リス1・・・山神 友恵  
 リス2・・・矢ノ川 陽子  
 ウサギ・・・浜谷 真理子  
 一月の精・・・古川 伴睦  
 二月の精・・・更井 孝行  
 三月の精・・・飛田 晃治  
 四月の精・・・小倉 輝一  
 五月の精・・・木立 実  
 六月の精・・・鶴田 まや  
 七月の精・・・高木 恵美子  
 八月の精・・・坂本 葉子  
 九月の精・・・鈴木 志門  
 十月の精・・・田中 誠  
 十一月の精・・・小林 利也  
 十二月の精・・・兼松 正敏

**池田** 女王は失敗したりした時に、すねたり怒ったり違う方法でしか表現が出来ない。甘えたい気持ちがあっても、その出し方がわからないんだろっようなあつて思う。湖でみなしごこと出会うシーンで、ものすごい敗北感があったのね。立場的には女王の方が上なのに、みなしごに「ごで摘んだのかは言えない」と言われ、怒るとか命令するとか権力を振りかざすことしか出来ない。自然の中に入った時に、なんて弱いんだろっつて思う。

**小倉** 十二月(つき)は毎年毎年季節を変えていって、実り豊かな季節を、四季を繰り返す普遍的な存在だよ。

**高木** そういふ存在を、季節を人にしたら、みたいな感じで、人としていっていか、形として見せる、そっいふことが難しいんだよね。

**小倉** 一人一人がホントに大きい存在だよ。

■一九五九年に仲間『森』の上演を始めてからもう五〇年近く経とうとしてるので



M. Ikeda

すが、『森』の魅力ってなんだと思いますか？

**大堀** 自分の一番最初の記憶にある『森』はストーリーとかよりも、吹雪とオオカミがすごく怖かった。「みなしご死んじゃうよ。」って思ってた。で、リスとウサギがホントに可愛かった。小学生くらいの時は、「みなしご頑張れ！」って思ってたんだけど、中高生くらいになるといじわる娘とか女王とかかか気になりだしたの。自分が成長してるってこともあるんだろっけど毎年毎年感じるものが違う。そっいふ風にそれぞれの気持ちに共感出来るっていうのは面白いの。一つなんじゃないかな？

**小倉** 歌の力も大きいよね。毎年、保育園の子ども達が観に来てくれるじゃない？なんか、観ていて自然と一緒に歌ってる姿を見ると、嬉しいよね。こっちが、元気になっちゃったりするしね。

**田中** どの役も、物語の本筋とは別にその人のストーリーがあるよね。だから、観る側も色々な視点で観れるんだと思うけど、演る側としてもどんな



M. Tanaka

☆『森は生きていこう!』  
 5組10名様をご招待!

観劇をご希望の方はハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・職業(子ども・おやお)劇場その他鑑賞団体に入会している方は団体名をお書き下さい)を明記の上、観劇希望日時を書いてお送り下さい。当選された方には、11月27日(月)までに招待状を郵送いたします。

※不切 11月20日(月)消印有効

〒164-0011 東京都中野区中央2-54-10  
 ▼劇団仲間「Step up」プレゼント係

な役を演っても面白いんだと思う。

**大堀** それぞれが、ちゃんとそこで生きることが出来たら、すごく素敵だなあと思うよね。

一同 そうだねえ。

■はてさて、出演者たちはどの様に『森』で生きてくれるのでしょうか？  
 どうぞ、お楽しみに!!

## Farm Garden

ファームガーデン

<http://www.e-farm.jp>

ひとつひとつ手づくりこだわり  
 新しいものを取り入れながら、  
 古いものも生かしていく、  
 四季の変化 自然との調和 時の流れをテーマに  
 心のやすらぎ(Garden)を創っています。

代表 飛田正樹

茨城県下妻市下妻乙908-1 TEL.0296-43-6410 FAX.0296-43-1736 E-mail:info@e-farm.jp

# 森は生きている/近況報告

## ◆『森は生きている』に突入



生井 健夫

一九五九年  
劇団創立七年  
目ともなると  
演技部二五名  
演出部六名、  
製作部五名と  
なり、代表

中村俊一の中に待望の『森は生きている』を上演したい、上演出来るという意欲があふれ出てきた。それは人員や時期的な問題ではなく演技部の技術進歩の目覚ましさと表現の定着度の深まりを認めたからである。

当時の劇団公演スケジュールは多忙を極め、前年一九五八年『魔法のつぼ』『乞食と王子』『断層』『愛の伝説』『馬蘭花物語』『玉島』『花咲く港』、一九五九年は前記演目の旅移動公演から中村が三年がかりであったためいた北条秀司作『松川事件』、『シェイクスピア』『十二夜』、『メキシコへ行こう』と思つたらと息つく暇もなく『森は生きている』の稽古に入り八月六日東横ホール初日に突入した。

劇団員は大半が二十歳代で若く一晚寝れば疲れは残らなかつた。中村は『森は生きている』の初日に東横ホールの袖で落ち着かない風情で舞台を凝視していたのを覚えてる。

公演は大成功であった。あれからほぼ半世紀、公演数も一九〇〇回を越えた。

中村をはじめ、何人かは鬼籍に入った。『森は生きている』は仲間の財産であり宝物である。公演の度毎に新しい発見を見出しつつ二〇〇〇回目指して幕進中である。

## ◆八月の研修精



八月の精  
坂本 葉子

入団してから今年が三年目、三年目にして初めて『森は生きている』に出演することになりました。私が演じるのは八月の精でも実は私は一月生まれで、夏が大嫌いなんです。夏の精は太陽のように輝き、元気一杯な存在。私は只今、八月の研修精です。本番を向かえる頃には、太陽のようにカッコと照る八月の精になってみせます。

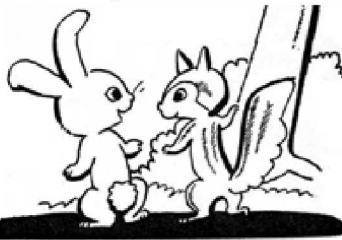
でもちよつと冷夏かも?!

## ◆愛すべきリス



リス2  
矢ノ川 陽子

新人の矢ノ川陽子です。一九五九年から継承されている作品



『森は生きている』に出演する事になりました!! 私のは森を棲み処に生きている小さな尻尾振り(リス)です。母が作ってくれたリスの縫いぐるみは私のお気に入りでした。そんな愛すべきリスです。森に命を吹き込めるよう、生命力に溢れるリスを演じたいです。

## 『カモメに飛ぶことを教えた猫』

二〇〇六年「本物の舞台芸術体験事業作品」に決定。九月四日(月)から事前のワークショップを終え、十月十日(火)からは首都圏を中心に十四ステーションの公演が始まります。

## 『見えない友達』

『ふたりのイーダ』、『毛モと時間どろぼ』の三作品も好評上演中!!



## 編集後記

編集責任者 三橋 怜子

カメラを持って散歩をしていると、いつもと同じ道を通っていても、セカセカ歩いている時には気が付かなかったことに気付くことがあります。何か撮ってやろう!と思っているせいでしょうか? 大抵は、小さな発見なのですが、ちよつと得した気分になったりします。

毎年、年末年始恒例の公演となりましたが、観に来る度に新鮮な発見がある、そんな風に思っていただけなら嬉しいです。

今後とも、皆様の変わらぬご支援をよろしくお願ひ申し上げます!

小皿でいろいろ中華を!

ランチ・ご宴会・15名様以上貸切

中華小皿料理

# 弘龍

営業時間 AM11:30~PM22:30(L.O)

〒164-0012 東京都中野区本町4-21-11-101 TEL・FAX/03-5385-8931

